

### 委員長に吉田俊彦氏

#### 東海三県中学校修旅委

東海三県中学校修学旅行体輸送計画作成のフェスティバルを決定して閉会した。委員会は、平成六年度総会を六月二十七日名古屋市教育館で開催した。

平成五年度事業報告と会計決算報告を、事務局報告と承認し、平成六年度役員に、吉田俊彦委員長ほか各委員を別掲のとおり選出した。吉田委員長のあいさつに続いて、副委員長田丸理事・総局長から、東海三県中学校修学旅行委員会結成の経緯と、現在まで三十五年間にわたる全修協との関係について説明した。

あおぞら号近畿地区運営協議会は、平成六年度総会を六月十四日十時からリール近鉄で開催した。大阪、兵庫、奈良の各委員、近鉄から嶋村営業企画部長ほか四名、副委員長山本理事長ほか三名、近畿日本ツーリストから喜多博副社長ほか三名、博愛西宮営業本部部長ほか三名が出席した。岡本会長、山本理事長、嶋村部長のあいさつに続いて、岡本会長を議長として報告事項、役員改選の後、西中副会長を議長として協議事項が進められた。

また、自然減だけでなく学校教員減少気味であることから、伊勢志摩修学旅行の教育的意義と、安全で快適、しかも経済的にもっとも適当な「あおぞらII号」の運賃の四割引きなど利点の多い「あおぞらII号」の利用拡大についての意見も出された。協議会と伊勢の旅館との話し合いも一昨年から始められ、スペイン村という付加価値の大きいところもあり、今後とも校長会等で利用促進していくよう申し合わせた。

議事を終わって、三年間会長として会の発展に努力された岡本前会長に山本理事長から記念品が贈られ、新旧会長のあいさつ、大友局長の閉会の言葉があった。十一月四十五分に運営協議会を終了した。

平成八年度の乗車申込みは、九月上旬に用紙が配付され、学校などの希望を十一月十九日まで当該府県の事務局に送付することにしている。運営協議会では来月一月中旬に、平成八年度輸送計画を発表する予定。本年度の役員は次のとおり(各中学校長、敬称略)。

委員長 吉田俊彦(愛知・西春日井市)

副委員長 西春日井市

委員 山本理事長(近畿日本ツーリスト)

副委員長 喜多博(博愛西宮)

委員 岡本会長(東海三県)

委員 嶋村部長(東海三県)

委員 山本理事長(東海三県)

委員 田丸理事(東海三県)

委員 吉田委員長(愛知)

委員 山本理事長(近畿)

委員 嶋村部長(東海)

委員 岡本会長(東海)

委員 田丸理事(東海)

委員 吉田委員長(愛知)

委員 山本理事長(近畿)

委員 嶋村部長(東海)

委員 岡本会長(東海)

委員 田丸理事(東海)

### 会長に西中 隆氏

#### あおぞら号近畿地区運営協議会

あおぞら号近畿地区運営協議会は、平成六年度総会を六月十四日十時からリール近鉄で開催した。大阪、兵庫、奈良の各委員、近鉄から嶋村営業企画部長ほか四名、副委員長山本理事長ほか三名、近畿日本ツーリストから喜多博副社長ほか三名、博愛西宮営業本部部長ほか三名が出席した。岡本会長、山本理事長、嶋村部長のあいさつに続いて、岡本会長を議長として報告事項、役員改選の後、西中副会長を議長として協議事項が進められた。

また、自然減だけでなく学校教員減少気味であることから、伊勢志摩修学旅行の教育的意義と、安全で快適、しかも経済的にもっとも適当な「あおぞらII号」の運賃の四割引きなど利点の多い「あおぞらII号」の利用拡大についての意見も出された。協議会と伊勢の旅館との話し合いも一昨年から始められ、スペイン村という付加価値の大きいところもあり、今後とも校長会等で利用促進していくよう申し合わせた。

議事を終わって、三年間会長として会の発展に努力された岡本前会長に山本理事長から記念品が贈られ、新旧会長のあいさつ、大友局長の閉会の言葉があった。十一月四十五分に運営協議会を終了した。

平成八年度の乗車申込みは、九月上旬に用紙が配付され、学校などの希望を十一月十九日まで当該府県の事務局に送付することにしている。運営協議会では来月一月中旬に、平成八年度輸送計画を発表する予定。本年度の役員は次のとおり(各中学校長、敬称略)。

委員長 吉田俊彦(愛知・西春日井市)

副委員長 西春日井市

委員 山本理事長(近畿日本ツーリスト)

副委員長 喜多博(博愛西宮)

委員 岡本会長(東海三県)

委員 嶋村部長(東海三県)

委員 山本理事長(東海三県)

委員 田丸理事(東海三県)

委員 吉田委員長(愛知)

委員 山本理事長(近畿)

委員 嶋村部長(東海)

委員 岡本会長(東海)

委員 田丸理事(東海)

委員 吉田委員長(愛知)

委員 山本理事長(近畿)

委員 嶋村部長(東海)

委員 岡本会長(東海)

委員 田丸理事(東海)

### 会長に山口光則氏

#### 近畿地区公立中学校修旅委

近畿地区公立中学校修学旅行委員会、平成六年度総会を、六月十四日四時からホテルサンフラー(京都)で開催した。

まず山本陽造会長、顧問の岡全修協山本種一理事長のあいさつがあり、次いで全修協大友恭大理事局長から、近畿地区公立中学校修学旅行委員会の沿革について説明の後、山本陽造会長を議長に報告事項と協議事項の議事が進められた。

報告事項では、初めて和歌山で行われた近畿地区中学校修学旅行研究大会の成功、九州方面の増加が目立つ計画輸送、成果があったら、次の項目(この説明を

行い、予算案とともに承認された)。

(1)研究活動の推進

・第九回全修協修学旅行セミナー(9月27日、京都)

・第九回近畿中学校修学旅行研究大会(1月20日、京都)

(2)調査報告の承認

・第七回現地研修(8月18-19日、箱根・富士五湖方面)

(3)活動基盤の強化

(4)調査活動の実施

今年度は京都が建都千二百年を迎え、多くの記念行事が行われているが、第九回全修協修学旅行セミナー、第九回近畿中学校修学旅行研究大会とともに京都での開催が決まり、その成功へ向けて、各府県で取り組む

ことを決議した。

続いて平成六年度役員選出に入り、山口光則会長ほか左記のとおり決まり、新旧会長のあいさつがあつて十六時三十分閉会した。

本年度の委員は次のとおり(各中学校長、敬称略)。

会長 山口光則(京都・大津)

副会長 木下脩三(大阪・狭山)

副会長 本田克己(奈良・桜井)

副会長 吉口勝郎(滋賀・彦根)

副会長 宮崎一雄(和歌山・岩出)

副会長 柴田隆生(兵庫・東倉)

副会長 中村実男(兵庫・浜甲子園)

副会長 平岡豊(京都・高田)

副会長 津田孝司(滋賀・南郷)

副会長 細田経世(大阪・枚岡)

### 会長に吉井弘美氏

#### 近畿中学校長会修旅委

近畿中学校長会修学旅行委員会は、六月十六日大阪弥生会館において平成六年度総会を開催した。

各府県の新旧委員、全修協、日修協のほか、JR西日本団体セールスセンター、関西汽船、名門大洋フエリが出席、平成五年度事業報告及び決算報告の後、吉井弘美校長(港中)が委員長に選出され、平成六年度事業計画を決定した。

平成八年度輸送について、JR内輸送計画書提出が十二月二十日になっているため、抽選を早め、十二月上旬に必要があるとのJR側の提起があり、昨年来の懸案であることが、やむを得ないとの結論に達した。したがって申込書用紙は九月上旬に発送

され、学校などの希望を十一月十九日まで当該府県の事務局に送付することにしている。運営協議会では来月一月中旬に、平成八年度輸送計画を発表する予定。本年度の役員は次のとおり(各中学校長、敬称略)。

委員長 吉井弘美(大阪府・港)

副委員長 山口光則(京都市・神川)

副委員長 山口光則(京都市・大山崎)

副委員長 藤井政勝(奈良県・生駒市)

副委員長 木下脩三(大阪府・大阪狭山)

副委員長 小谷保(神戸市・葦合)

副委員長 中村実男(兵庫県・浜甲子園)

副委員長 吉口勝郎(滋賀県・彦根)

副委員長 山本陽造(和歌山県・紀之川)

副委員長 宮崎一雄(和歌山県・岩出)

縮切は十月中旬とそれぞれ時期が一月半程度早まることになる。細部の日程については、八月上旬に決定される。

本年度役員は次のとおり(各中学校長、敬称略)。

委員長 吉井弘美(大阪府・港)

副委員長 山口光則(京都市・神川)

副委員長 山口光則(京都市・大山崎)

副委員長 藤井政勝(奈良県・生駒市)

副委員長 木下脩三(大阪府・大阪狭山)

副委員長 小谷保(神戸市・葦合)

副委員長 中村実男(兵庫県・浜甲子園)

副委員長 吉口勝郎(滋賀県・彦根)

副委員長 山本陽造(和歌山県・紀之川)

副委員長 宮崎一雄(和歌山県・岩出)

KANSAI KISEN

大阪・神戸 直行便 別府 さんふらわあ 12,000ト

大阪南港 18.40発 神戸中突堤 20.10発 別府 7.40着 9.00発 19.10発

信頼の船旅

船客営業部販売課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06) 344-7031

東京支店 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03) 3274-4273

関西汽船

美しくに 伊勢志摩

伊勢内宮前 岩戸屋

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。

伊勢市内宮前

岩戸屋

伊勢内宮前(〒516)

TEL <0596> 23-3188(代)

テレックス 4969-503 イセイワトヤ

「動物たちのあつたカラ・ン・ド」

●営業受付時間

9:00~17:00 (3月16日~11月15日)

9:30~16:00 (11月16日~3月15日)

●修学旅行料金(消費税含む)

高校生 1,100円 中学生 800円

小学生 700円 ガイドラジオ

バス1台につき1,030円

別府あじむ草原 博物館相当施設

アフリカンサファリ

〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑

☎(0978) 48-2331(代)

FAX (0978) 48-2330

地球に生まれた宇宙。SPACE WORLD

宇宙・体・験

〈スペースワールドは21世紀の校外学習環境〉

(株)スペースワールド

インフォメーションセンター TEL093-672-3600 予約センター 0120-340020

本社 〒805 北九州市八幡東区枝光900-1

### クオリティミニガイド

へ仏像鑑賞(4)  
観音菩薩(聖観音)  
「観音(阿)として親しまれている菩薩には、十一面観音、千手観音などさまざまであり、観音はその姿を三十三変化させるといわれている。多く姿を変えた観音のもの姿が聖(しょう)観音であり、観音の基本という意味で正観音と書くこともある。阿弥陀如来の化仏(けふつ)を付けた宝冠をかぶっているのが特徴であり、勢至菩薩とともに阿彌陀如来の脇侍仏として配置されることが多い。

このほか観音には、如意輪観音(二臂で法輪・宝珠・蓮華・数珠などを持つ)、十一面観音(如来一面菩薩十面を戴く)、千手観音(合掌のほかに四十臂を持ち、一つの手で二十五の済度を行う)、不空羂索(けんじやく)観音(額に第三眼を持ち、八臂に蓮華・錫杖・白仏・索(いと)を持つ)、准胝(じゆんてい)観音(イン)下語のチュンティの転訛(じゆんてい)を、三眼十八臂が一般的な姿。剣・金剛杵・蓮華・法

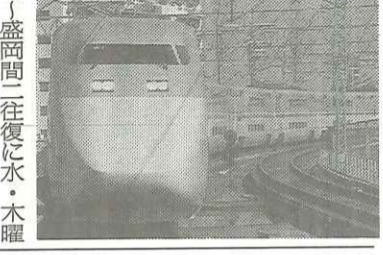


化仏付宝冠 施無畏印 天衣 胸飾 臂釧 腕釧 水瓶 蓮華座 返花 聖観音 裳(褌)

### 情報発信基地

東北・上越新幹線にオール2階建て編成  
JR東日本では、座席数を増やす目的で開発したオール2階建て新幹線(EI系)愛称Max12両編成を、七月十五日から東北・上越新幹線で運転する。

1-4号車の2階部分には3+3人掛けシートを採用し、座席数はこれまでの16両編成とほぼ同じ千二百三十五、東北新幹線では朝那須塩原発東京行と東京



盛岡二往復に水・木曜日は朝の高崎発東京行と東京・新潟間二往復に毎日導入される写真

「盛岡二往復に水・木曜日は朝の高崎発東京行と東京・新潟間二往復に毎日導入される写真」

十和田湖の乙女の像  
美しい姿で再び湖岸に  
青森県十和田湖のシンボル、高村光太郎「乙女の像」は、三月から埼玉県の工房で化粧直しを行っていたが、このほどこの場所

「乙女の像」は、三月から埼玉県の工房で化粧直しを行っていたが、このほどこの場所

9月まで 申込受付中  
長野県夏季学生村振興組合連絡協議会では、「94信州夏季学生村」を、戸狩・白馬・松原湖など県内十四か所に開村している。

鈴鹿ホンダコレクション  
「鈴鹿サーキット」で第2回展  
昨年七月、鈴鹿サーキット内にオープンしたホンダ

古屋・大阪・九州各観光案内所。東京100千代田丸の内一八三国際観光会館4階  
03-3214-5651

松本空港がジェット化  
7月26日から再開へ  
長野県の松本空港は、昨

別府阿蘇道路が  
6月25日から無料に  
日本道路公団は、別府阿蘇道路(大分県湯布院町、熊本県一の宮町52・4キロ)を六月二十五日から無料化した。

鎌倉を代表するのは鶴岡八幡宮である。八幡宮が鎮座する一帯を雪ノ下という。雪ノ下とは、八幡宮の裏の谷戸に古くからあった雪屋(雪の貯蔵庫)の下の場所の意といふ。

雪ノ下界隈には、鎌倉八百年の興亡の歴史がひそやかに息づいている。しかし、一見しただけではそこは普通の地方都市の街観と変わらぬ。歴史の顔は

きわめて希薄である。この度は、雪ノ下から西御門(にしみかど)にかけて、色あせた歴史の影を浮き彫りにしてみたいと思う。

若宮大路  
養和二年(寿永元・一一二二)頼朝は、妻政子の第二子懐妊帯着の儀が行われた三月九日を期して、その安産祈願のために、鶴岡八幡宮から由比ヶ浜までの道路を真っすくに整備し参詣道路を造営した。

段葛(だんがせ)といふ。ひそかに人の気配のない早朝、桜並木のこの道の真ん中にたたずんで睨を閉じていると、往時威儀を正して八幡宮に参った鎌倉御家人の姿がまぼろしのよう

「佐(すけ)殿は、この鎌倉にお入りになりますと、まず由比ヶ浜八幡宮の

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

「十六日、乙未(きの)のつひつじ、駿河国に進発せしめ給う。平氏の大将軍小松少将惟盛朝臣、数万騎を率して、去るる十三日、駿河国手越に到着するの由その告めるに「つひつじ」

八幡宮は、建久二年(一一九二)大火で焼失したので大江山中腹に社殿を造営改めて石清水八幡宮を勧請した。今の本宮であり、旧社殿跡には若宮を造営、上下両宮とした。

混交(八幡宮と称した)吾妻鏡によれば、この日、平惟盛を総大将とする七万余騎が、頼朝追討のため京を出発したと早馬が到着したが、頼朝は落慶式を済ませてから出陣した。

### 鎌倉の再発見(II) しばのをだまき(1)



段葛・国指定史跡

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。

鶴岡八幡宮  
鶴岡八幡宮は、康平六年(一一六三)八月、源頼朝

方に向かって、道幅をばなさいました。また、故佐馬頭(さまたま)の父義朝(よしか)さまの旧居、亀ヶ谷の跡の近法(きんぽう)の手法がみごとに施されているのである。



一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

一の鳥居・国指定重文

## 風薫る、東北の四季。

四季折々、様々な表情を見せる東北は、そのまま「自然博物館」。

交通網の充実でより身近になった東北の旅。

ふるさと自慢の数々にふれあってみませんか。

東北地方修学旅行誘致実行委員会

青森県観光課	〒030-70青森市長島1丁目1-1	TEL.0177-22-5080
岩手県観光物産課	〒020-70盛岡市内丸10-1	TEL.0196-51-3111
秋田県観光課	〒010-70秋田市山王4丁目1-1	TEL.0188-60-2266
宮城県観光課	〒980-70仙台市青葉区本町3丁目8-1	TEL.022-211-2743
山形県観光物産課	〒990-70山形市松波2丁目8-1	TEL.0236-30-2373
福島県観光物産課	〒960-70福島市杉妻町2-16	TEL.0245-21-7286

秋田県・田沢湖

## とっておきの思い出に。

学んで、遊んで、楽しめる。注目のアミューズメントリゾート、鈴鹿サーキット。広大な敷地のなかには多機能型の宿泊施設、各種スポーツ施設、最新設備の整った研修センターや交通教育センターなど、多彩な施設を揃えています。趣向を凝らした修学旅行など、目的・用途・人数などに合わせて、幅広くご利用ください。

体験学習のご案内

- エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学 ●モータースポーツ観戦 ●二輪交通安全教室 ●レーシングコースバス走行 ●ホンダコレクションホール見学 ●テーブルマナー他

SUZUKA CIRCUIT

お問い合わせは

- 鈴鹿サーキット/三重営業所 ☎0593(78)1111
- 東京営業所 ☎03(3582)3221
- 大阪営業所 ☎06(372)1526
- 名古屋営業所 ☎052(571)7176

## 全館写真掲載の最新データ本 好評発売中!

1704軒 宿泊データガイド 1 ビジネスホテル 全国版	1333軒 宿泊データガイド 2 公共の宿 全国版
---------------------------------------	------------------------------------

●サイズ/A5変型  
●あじろ綴/544頁  
●定価/1,500円

●サイズ/A5変型  
●あじろ綴/532頁  
●定価/1,500円

近畿日本ツーリスト出版事業部

〒101 東京都千代田区神田松永町19-2  
TEL 03-3257-0779(営業直通) FAX 03-3258-3216

## 戦国歴史体験学習

広大な伊勢・志摩の大自然を背景に、幻の安土城をはじめ戦国の町並みと文化・風俗を再現。生きた戦国時代が体験学習できる新しいタイプのテーマパークです。

伊勢戦国時代村

料金のご案内 入村手形(体験館6か所に入場できます。) 18歳以上 高校生 中学生 幼児・小学生  
その他、フリーパスタイプの手形もあります。

1,800円 1,200円 700円

三重県度会郡二見町大字三津1201-1  
☎05964-3-2300